

第3回 再処理・リサイクル部会 夏期セミナー

～テーマ：将来の原子燃料サイクルと再処理技術～

第8回 将来原子力システムのための再処理技術専門委員会

再処理・リサイクル部会では、使用済燃料の再処理や原子燃料サイクルに関わる様々な課題について、毎年テーマを定め、若手研究者や学生を中心に泊りがけで議論を行うことにより、本分野の活性化と人材育成への寄与を目指した夏期セミナーを行っております。

令和に入って最初の夏期セミナーは、「将来原子力システムのための再処理技術」専門委員会と共催で、「将来の原子燃料サイクルと再処理技術」の在り方などについて議論したいと考えております。

例年セミナーの後に日本原燃のサイト見学を実施しておりますが、今まで再処理関連施設を見たことがなかった学生や若手研究者の方に講演の理解などを深めることができると考え、今回はセミナー前に行うことにいたしました。特に学生の方でまだ日本原燃六ヶ所サイトの見学をしたことがない方はぜひ見学することをお勧めします。

夏期セミナー議長 鈴木 達也

1. 日時：2019年8月20日（火）－ 8月21日（水）の2日間

2. 場所：青森原燃テクノロジーセンター

<http://www.agtcinc.co.jp/>

〒039-2664 青森県上北郡東北町字乙供 58 番地

TEL. 0175-63-4680 (代) FAX. 0175-63-4681

3. プログラム

議長：鈴木 達也（長岡技術科学大学 教授）

<1日目>

※ 日本原燃サイトの見学希望の方は、三沢市役所または三沢駅に集合いただき、そこからバスで日本原燃サイトへ移動となります。

見学不参加の方は、8/20 18:00 までに直接、青森原燃テクノロジーセンターにお集まり下さい。

12:30 三沢市役所 集合

12:30-12:45 バス移動

12:45 三沢駅 集合

12:45-14:00 バス移動

14:00-17:00 日本原燃サイト 見学

17:00-18:00 バス移動

18:00-18:30 開会挨拶と本セミナーの趣旨説明等 鈴木 達也 (長岡技科大)

18:30-18:50 1. 「六ヶ所再処理工場の現状 (仮)」 駒嶺 哲 (日本原燃)

18:50-19:00 質疑

19:00-21:00 夕食・総合討論

<2日目>

8:30-8:50 2. 「放射性核種分離に係る放射線化学研究」 樋川 智洋 (原子力機構)

8:50-9:00 質疑

9:00 – 9:20	3. 「放射性廃棄物の処分について（仮）」	朝野 英一	（原環センター）
9:20 – 9:30	質疑		
9:30 – 9:50	4. 「再処理技術へのニーズ 1」	飯塚 政利	（電中研）
9:50 – 10:00	質疑		
10:00 – 10:20	5. 「再処理技術へのニーズ 2」	島田 隆	（三菱重工）
10:20 – 10:30	質疑		
10:30 – 10:45	休憩		
10:45 – 12:00	グループ討論		
12:00 – 12:45	昼食		
12:45 – 14:00	グループ討論に係る発表		
14:00 – 14:10	閉会挨拶・写真撮影		

4. 定員、参加費と交通

(1) 定員

- 会場の都合で 30 名程度といたします。
- 先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

(2) 参加費

- 参加費
 - 一般 正会員・シルバー会員：3,000 円（不課税） 非会員：4,000 円（税込）
 - 学生 無料
- 宿泊費 8,500 円（20 日夕食代、21 日朝食代及び昼食代含む。税込）
 - ※ 夕食代には懇親会参加費が含まれます。
 - ※ 8 月 20 日夜は、参加者全員で青森原燃テクノロジーセンターに宿泊となります。
- 支払い方法：当日、受付時に現金にてお支払いください。

(3) 交通

- 三沢空港。車 40 分。
- 七戸十和田駅。車 15 分。
- 八戸駅→三沢駅（青い森鉄道 570 円）。車 30 分。
- 八戸駅→乙供駅（青い森鉄道 920 円）。徒歩 20 分。
 - ※セミナー終了後、七戸十和田駅に 14:30 頃到着できるよう、会場から七戸十和田駅までの交通手段を手配いたします。

(4) 前泊時における宿泊先

- 集合場所（三沢市役所）付近の宿泊先

ルートイン三沢	https://www.route-inn.co.jp/hotel_list/aomori/index_hotel_id_504/
三沢シティーホテル	https://misawa-cityhotel.com/facility.php
三沢プリンセスホテル	http://www.princesshotel.jp/princessH/

5. 参加申し込み及び問い合わせ

○ 下記の項目を明記し、E-mail でお申し込みください。

①氏名

②所属

③会員区分（正会員・学生会員・シルバー会員・非会員・学生非会員）

④会員番号（会員の方のみ）

⑤連絡先（申込み後、セミナー開催までの間、連絡が取れる TEL、E-mail）

⑥日本原燃サイト見学ツアー参加の希望の有無

（参加される方は、別紙「日本原燃サイト見学ツアーについて」に記載してある情報についても、締め切り日までにご提供ください。）

⑦交通費補助の希望の有無（「6.学生参加者への交通費補助」を参照のこと。）

○ 締め切り 8月2日（金）

○ 連絡先

大西 貴士（日本原子力研究開発機構）

E-mail: ohnishi.takashi@jaea.go.jp

6. 学生参加者への交通費補助

○ 学生参加者にはセミナー参加にかかる交通費を補助することができます。交通費補助を希望する方は参加申し込み時にご連絡ください。学割を使用してください。

○ 自家用車を利用した場合は、旅費を補助することはできません。

○ 補助人数は 10 名程度、補助額は実費相当額と致します。

ただし、1 名あたり 8 万円を上限とし、応募者数等に応じて変更される可能性があります。

7. CPD プログラムへの参加

日本原子力学会では、原子力に携わる技術者・研究者は、倫理にもとることなく知識、技能、能力を常に高めることにより、原子力の利用に関する社会からの付託に応えなければならないとの考えから、各個人の継続研鑽を奨励するために日本原子力学会教育委員推奨 CPD（Continuing Professional Development）プログラムが推進されています。本セミナーは当プログラムの指定を受けることになっており、学会員の方についてはセミナー終了後に「CPD 受講証明書」が発行されます。

8. 講演者へのお願い

○ 発表形式

発表を円滑に進めるため、基本的に事務局が用意する PC でスライドをプロジェクタに投影します。スライドの電子データは USB メモリーでお持ちください。なお、個人の PC を持ち込んで使用する場合にはその旨御連絡いただければ幸いです。

スライドは PowerPoint で作成してください。一般的なフォントを用いてください。

○ 配付資料

スライドは、印刷したものを参加者に配布します。配付にあたり、発表者が人数分を用意し、持ち込んでいただければ幸いです（部数は後日連絡させていただきます）。資料のフォーマットはフリーとします。

日本原燃サイト見学ツアーについて

夏期セミナーの青森開催にあわせ、日本原燃㈱の施設を巡るツアーを開催いたします。六ヶ所原燃 PR センター、ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、再処理工場中央制御室、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、使用済燃料受入・貯蔵管理建屋を約 2 時間半で見学するコースです。核燃料サイクルの中核施設を是非この機会にご覧ください。

見学ツアーへ参加を希望される方は、「5. 参加申し込み及び問い合わせ」でご提示頂く情報に加えて、以下の項目についてもご回答をお願いいたします。

- ① 氏名のフリガナ
- ② 性別
- ③ 血液型（分かる範囲で RH+/- の情報も）
- ④ 生年月日
- ⑤ 国籍及びパスポート No（外国人のみ）
- ⑥ 所属（会社名、学校名等）・役職（学生は学年）
- ⑦ 現住所（身分証明証と同一であること）
- ⑧ 電話番号
- ⑨ 体重（目安で結構です。）
- ⑩ 身分証明証の写しの PDF ファイル（運転免許証で住所変更がある場合は裏面も）
- ⑪ 集合場所（三沢駅または三沢市役所のいずれか）

これらの情報のうち、①～⑩を基に事前登録をするため、参加申し込みの締め切り日までにご回答いただけない場合は、見学ツアーへの参加ができなくなることもありますのでご注意ください。

ツアーで施設に立ち入るために必要となる身分証明証（⑩の項目）は、以下の通りです。当日、必ず有効期限内の身分証明証の原本をご持参いただけますようお願いします。

○運転免許証、パスポート、住民基本台帳カード（写真付）、在留カード、特別永住者証明書、
レセパセ（LAISSEZ-PASSER）のうち 1 点

又は

○住民票（6 ヶ月以内）、健康保険証、年金手帳、共済組合証のいずれか 2 点の組み合わせ

< 予定行程 >

2019 年 8 月 20 日（火）

- 12:30 三沢市役所 発（バス）
- 12:45 三沢駅 発（バス）
- 14:00 日本原燃 着、見学開始
- 17:00 見学終了、日本原燃 発（バス）
- 18:00 青森原燃テクノロジーセンター着